

2024年度(2025年3月期) 決算説明会

株式会社 浅沼組

東証プライム市場 | 1852

2025年5月28日





目次

1 業績・財務

1.2024年度 実績 p.4

2. 中期3カ年計画 業績・キャピタルアロケーション p.11

3. 株主還元 p.13

2 中期3カ年計画(2024～2026年度)KPI・施策の進捗状況

1. TOPICS p.15

2. 中期3カ年計画のテーマ p.16

3. テーマ毎のKPIの進捗 p.17

4. テーマ毎の取り組み p.18

Appendix p.25



1 業績・財務

1. 2024年度 実績 - 業績ハイライト(連結)

- 受注・売上・利益ともに前期比・計画比増加。その結果、配当は期初計画35.0円/株より41.0円/株に増配予定(+6.0円/株)
- ROEは計画比良好。ROICも前期比・計画比増。これらは株主資本コスト5.5%および資本コスト(WACC)4.1%^{*1}を上回る水準

		2022年度	2023年度	2024年度			
		実績	実績	計画	実績	前期比(%)	計画比(%)
(単位:百万円)							
連結	受注高	144,743	177,366	141,200	180,624	+1.8	+28.0
	売上高	144,436	152,676	153,660	167,005	+9.4	+8.7
	売上総利益	15,139	14,149	16,100	17,991	+27.2	+11.8
	同率	10.5%	9.3%	10.5%	10.8%	+1.5P	+0.3P
	営業利益	5,691	4,057	5,930	6,867	+69.3	+15.8
	同率	3.9%	2.7%	3.9%	4.1%	+1.4P	+0.2P
	親会社株主に帰属 する当期純利益	4,200	4,670	4,020	4,692	+0.5	+16.7
	純資産 ^{*2}	43,999	47,622	47,016	45,708	△4.0	△2.7
	ROE	9.7%	10.2%	8.5%	10.1%	△0.1P	+1.6P
	ROIC	7.3%	4.5%	6.7%	7.1%	+2.6P	+0.4P
	配当性向	73.3%	70.0%	70.3%	70.4%	+0.4P	+0.1P
	配当(額)	38.2円 (191.0円) ^{*4}	40.6円 (203.0円) ^{*4}	35.0円 ^{*3} (175.0円) ^{*4}	41.0円^{*3} (205.0円) ^{*4}	+0.4円	+6.0円

^{*1} 2025年3月末時点。CAPMにて算出

^{*2} 非支配株主持分除く

^{*3} 2024年度より中間配当制度を導入。配当金額41.0円の内、第2四半期末に15.0円の間配当を実施(効力発生日は2024年12月3日)

^{*4} 株式分割前の金額

1. 2024年度 実績 - P/L（連結）

- 売上高については、工事の順調な進捗により、前期比増(+9.4%)、期初計画比増(+8.7%)
- 受注時の資材・労務費及び施工体制等を考慮した「選別受注」により、売上総利益率が大幅に改善(前年比+1.5P、計画比+0.3P)。コスト面における給与増加等を吸収する形となった

(単位:百万円)		2023年度 実績	2024年度 実績	前期比	増減率(%)	計画比	増減率(%)	主な変動要因
連結	売上高	152,676	167,005	+14,328	+9.4	+13,345	+8.7	工事の順調な進捗により、前期比・計画比増
	売上総利益	14,149	17,991	+3,842	+27.2	+1,891	+11.8	受注時の資材・労務費及び施工体制等を考慮した「選別受注」により、売上総利益率が大幅に改善
	同率	9.3%	10.8%	+1.5P	—	+0.3P	—	
	販管費	10,091	11,124	+1,032	+10.2	+954	+9.4	給与の増 +377百万円、 貸倒引当金繰入額の増 +435百万円
	営業利益	4,057	6,867	+2,810	+69.3	+937	+15.8	
	同率	2.7%	4.1%	+1.4P	—	+0.2P	—	
	営業外収益	631	399	△232	△36.8	—	—	為替差益の減△174百万円
	営業外費用	383	722	+339	+88.5	—	—	借入増による支払利息増+61百万円、 支払手数料増+216百万円
	経常利益	4,306	6,545	+2,239	+52.0	+725	+12.5	固定資産売却益の減 △2,813百万円
	同率	2.8%	3.9%	+1.1P	—	+0.1P	—	
	親会社株主に帰属 する当期純利益	4,670	4,692	+21	+0.5	+672	+16.7	
	同率	3.1%	2.8%	△0.3P	—	+0.2P	—	

1. 2024年度 実績 - B/S（連結）

- 完成工事高及び手持ち工事高の増加に伴い、売掛債権および買掛債務が増加。立替費用の増加に伴い、借入金増加（新規調達）
- 海外子会社の100%子会社化（20%の取得）に伴う資本剰余金が減少。中間配当の導入により、利益剰余金は前年比積みあがらず
上記による純資産減および総資産増加により、自己資本比率が減少

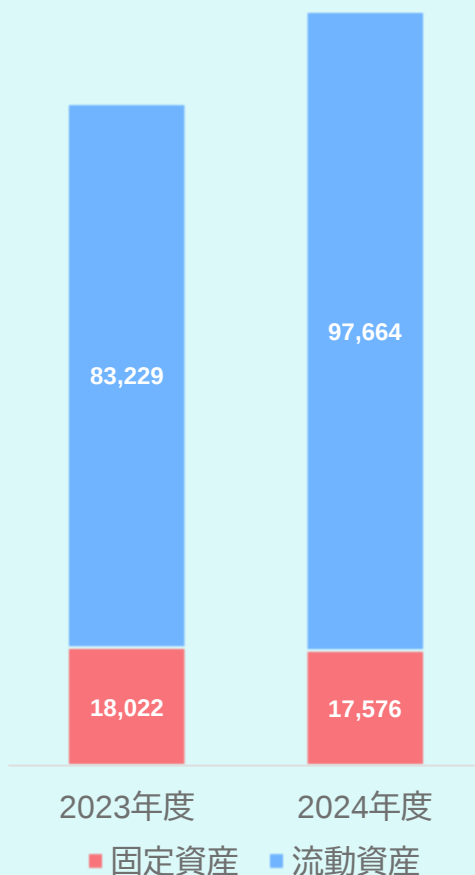
単位:百万円

資産の部

流動資産	+14,434
現金預金	+3,801
受取手形・ 完成工事未収金等	+8,810
固定資産	△446
投資有価証券	△235

主な変動要因

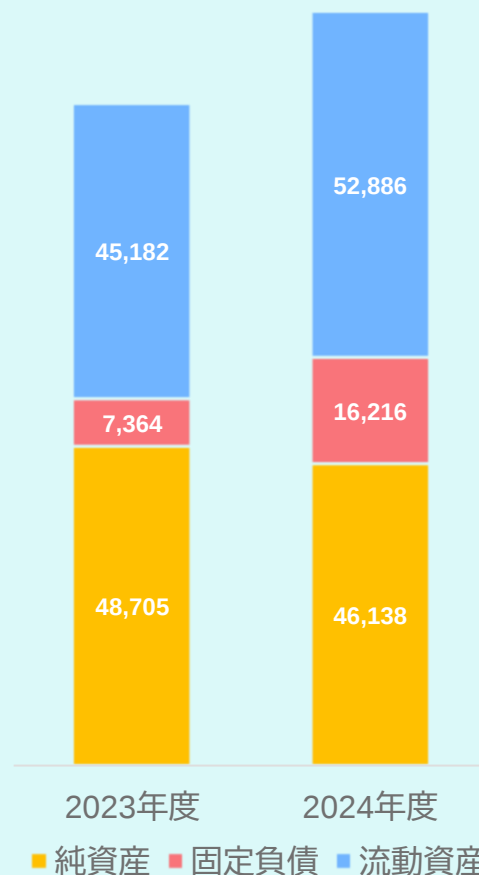
自己資本比率の変動
47.0% ➡ 39.7%



負債・純資産の部

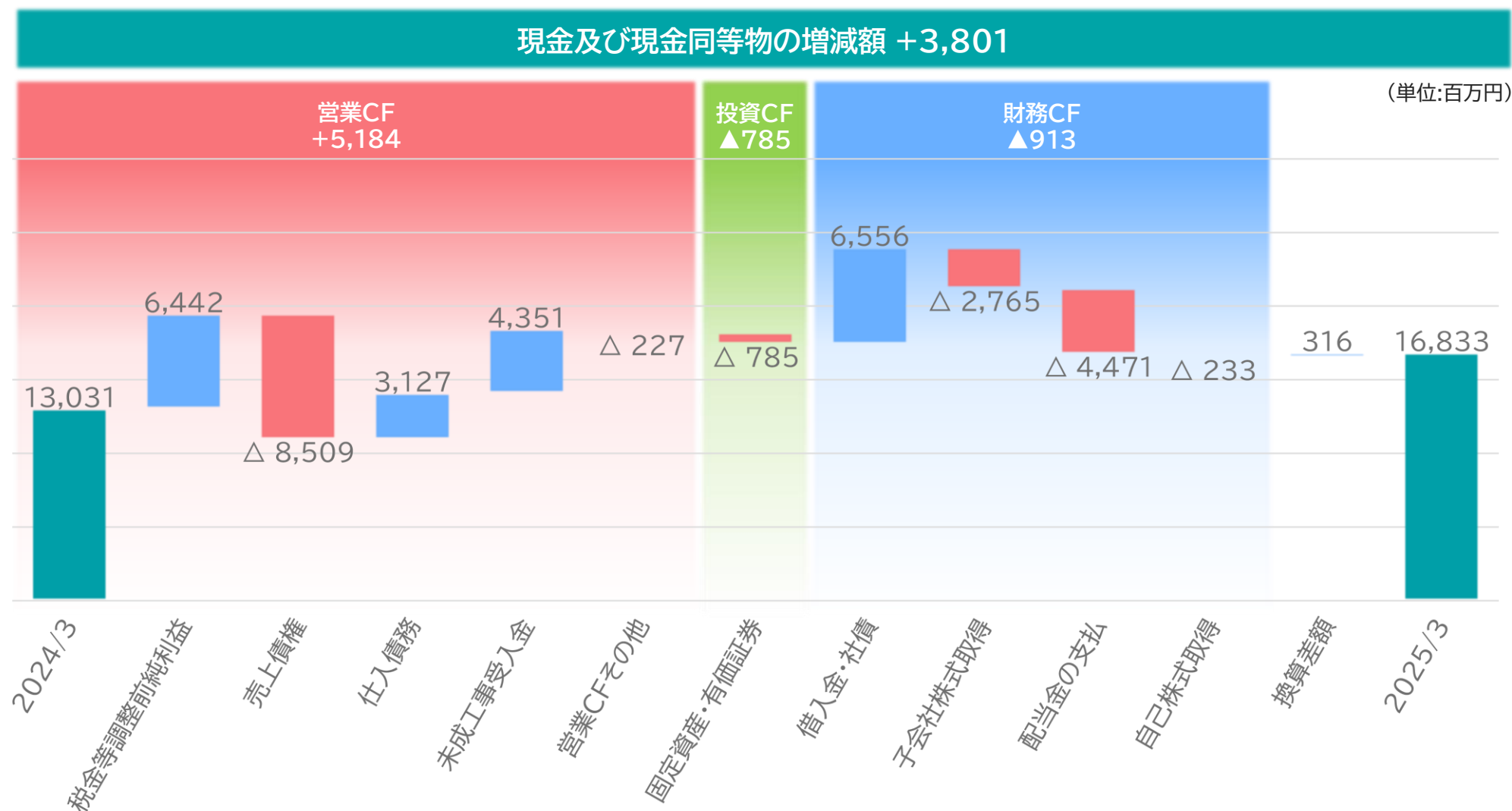
流動負債	+7,704
工事未払金	+3,279
短期借入金・1年 内返済/償還予定 の長期借入/社債	▲2,180
未成工事受入金	+4,371
固定負債	+8,852
社債・長期借入金	+8,753
純資産	△2,567
資本剰余金	△1,980
利益剰余金	+207

主な変動要因



1. 2024年度 実績 - C/F（連結）

- 営業CF: 売上債権 Δ 8,509百万円・仕入債務+3,127百万円・未成工事受入金+4,351百万円と立替が進むも税前利益+6,442百万円で計+5,184百万円
- 投資CF: 固定資産の取得により、 Δ 785百万円
- 財務CF: 立替の増加に備え借入+6,556百万円、海外子会社の100%子会社化(20%の取得)による Δ 2,765百万円、および期末配当に加え中間配当支払いにより Δ 4,471百万円



1. 2024年度 実績 – 主な事業別

- 親会社 建築: 完成工事高は工事の順調な進捗により計画比増。同利益率は、選別受注の強化により大幅改善
受注高は引き続き建築の倉庫等の大型案件受注がけん引し、前年度比同水準。繰越工事高は年々増加傾向
- 親会社 土木: 完成工事高および利益、利益率とも前年同水準を維持、下半期の大型案件の受注により、受注高・繰越工事高は前期比増
- SINGAPORE PAINTS: 計画を達成。次期計画は今期計画並みの水準
- EVERGREEN: 計画を大幅達成。前期は大型工事や市況環境等の一過性の要因もあり業績好調だったが、当期は例年並み。大型案件も順調、次期も堅調推移

(単位: 百万円)

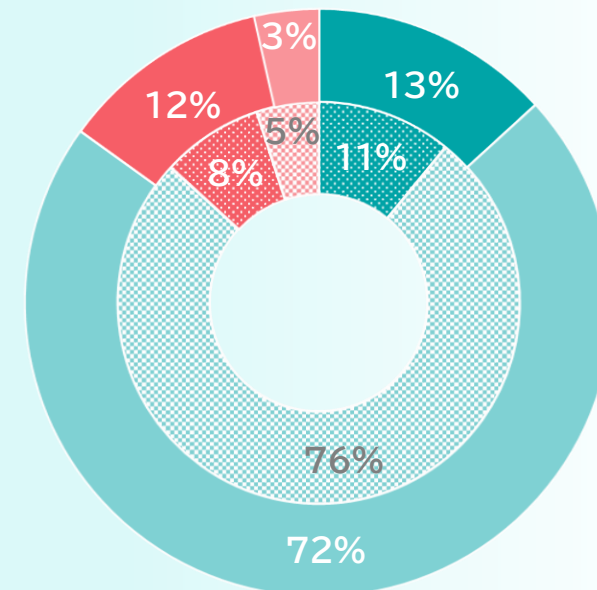
親会社単体					
		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	前期比 %
建 築	完成工事高	106,972	121,979	134,318	+10.1
	完成工事利益	9,007	8,750	12,916	+47.6
	率	8.4%	7.2%	9.6%	+2.4P
	受注高	113,277	146,168	143,828	△1.6
	繰越工事高	119,486	143,675	153,185	+6.6
土 木	完成工事高	25,275	19,757	20,957	+6.1
	完成工事利益	3,953	2,496	2,593	+3.9
	率	15.6%	12.6%	12.4%	△ 0.2P
	受注高	22,666	22,224	25,506	+14.8
	繰越工事高	30,309	32,776	37,325	+13.9
合 計	完成工事高	132,247	141,737	155,275	+9.6
	完成工事利益	12,961	11,246	15,510	+37.9
	率	9.8%	7.9%	10.0%	+2.1P
	受注高	135,943	168,393	169,334	+0.6
	繰越工事高	149,795	176,451	190,511	+8.0

海外連結子会社				
SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD. 建物塗装・修繕工事請負業 資本金: 41百万円 出資比率: 80%				
(損益)	2022年度 4Q実績	2023年度 4Q実績	2024年度 4Q実績	計画比 %
売上高	3,400	3,358	3,758	+4.4
営業利益	32	392	284	+35.7
経常利益	65	397	307	+39.9
当期純利益	55	333	255	+38.2
(貸借)	2022年度 期末実績	2023年度 期末実績	2024年度 4Q実績	計画比 %
総資産	1,282	2,558	2,521	—
有利子負債	30	135	—	—
純資産	558	958	1,294	—
EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD. 設備工事業、建物メンテナンス業 資本金: 389百万円 出資比率: 100%				
(損益)	2022年度 4Q実績	2023年度 4Q実績	2024年度 4Q実績	計画比 %
売上高	7,485	6,426	6,708	+13.7
営業利益	1,217	1,638	895	+6.6
経常利益	1,300	1,753	1,058	+15.0
当期純利益	1,074	1,449	891	+16.5
(貸借)	2022年度 期末実績	2023年度 期末実績	2024年度 4Q実績	計画比 %
総資産	4,060	4,979	6,800	—
有利子負債	—	—	—	—
純資産	2,190	3,833	5,047	—

1. 2024年度 実績 – 受注(単体)顧客別

		2023年度
		実績
(単位:百万円)	建築・土木 計	168,393
	官庁	32,178
	民間	136,214
	建 築	146,168
	官庁	18,376
	民間	127,791
	土 木	22,224
	官庁	13,801
	民間	8,423
海外子会社		8,973
連 結		177,366

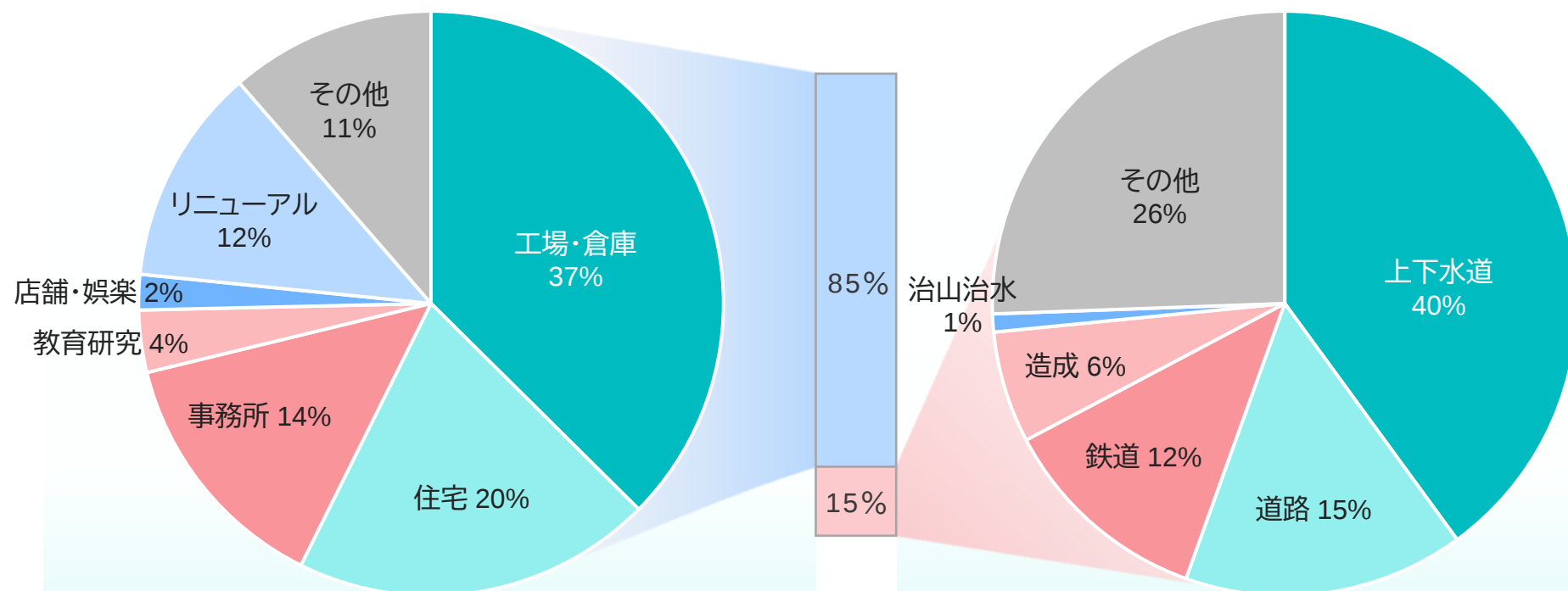
2024年度	
実績	前期比(%)
169,334	+0.6
41,934	+30.3
127,400	△6.5
143,828	△1.6
22,381	+21.8
121,446	△5.0
25,506	+14.8
19,552	+41.7
5,954	△29.3
11,289	+25.8
180,624	+1.8



外側:2024年度
内側:2023年度

- 建築 官庁
- 建築 民間
- 土木 官庁
- 土木 民間

1. 2024年度 実績 - 受注(単体) 工種別



用途別受注高

(単位:百万円)

建築事業(国内)

工場・倉庫	53,835
住宅	28,635
事務所	19,933
教育研究	4,946
店舗・娯楽	2,818
リニューアル	17,285
その他	16,371
合 計	143,828

土木事業(国内)

上下水道	10,193
道路	3,957
鉄道	3,004
造成	1,574
治山治水	254
その他	6,521
合 計	25,506

2. 中期3カ年計画 業績・キャピタルアロケーション

- 建築・土木(単体)とともに繰越工事高は増加しているものの(詳細P.8)、人手とのバランスや景気の不透明感を加味し、中期3カ年計画最終年度である2026年度売上高計画は2023年度対比減少にて据え置き
- 利益率は、引き続き選別受注の強化や、リニューアル事業等の利益率の高い領域の強化、生産性向上等により、増加の計画を維持
- 株主還元方針である配当性向70%以上に則り、每期増配計画。引き続き資本効率を意識した経営を行いPBRIは1倍以上を維持

(単位:百万円)		2023年度 実績 前中期3カ年計画 最終年度	2024年度 実績 中期3カ年計画 1年目	2025年度 計画 中期3カ年計画 2年目	2026年度 計画 中期3カ年計画 3年目	2023年度実績対比のコメント
連結	売上高	152,676	167,005	170,300	151,000	● 施工効率の高い倉庫等の案件獲得は一服、人手不足や景気の不透明感加味し、売上高は微減(▲1.1%)
	売上総利益	14,149	17,991	18,320	17,200	● 引き続き選別受注の強化、リニューアル事業等の利益率の高い事業の強化、DX推進等による業務効率化により、売上総利益率増加(+2.1P) ● 人件費高騰等を加味するも、営業利益率も増加する計画(+1.5P)
	同率	9.3%	10.8%	10.8%	11.4%	
	営業利益	4,057	6,867	7,030	6,400	
	同率	2.7%	4.1%	4.1%	4.2%	
	親会社株主に帰属する 当期純利益	4,670	4,692	4,770	4,900	
	純資産*1	47,622	45,708	47,000	49,800	● 利益により着実に積み上げ
ROE		10.2%	10.1%	10.3%	10.0%	● ROE・ROIC共に株主資本コスト5.5%・WACC4.1%*2以上を維持、資本効率を意識した経営を継続
ROIC		4.5%	7.1%	7.2%	6.8%	● ROEは2023年度の一過性の要素*3を排除し、減少(▲0.2P)
配当性向		70.0%	70.4%	70.1%	70.0%	● 配当性向は前中期計画に引き続き70%を維持する
配当(額)		40.6円 (203.0円)*4	41.0円*5	41.5円	42.5円	● 配当額については、2026年度に向け每期増配計画

*1 非支配株主持ち分除く

*2 2025年3月31日基準。CAPMにて算出

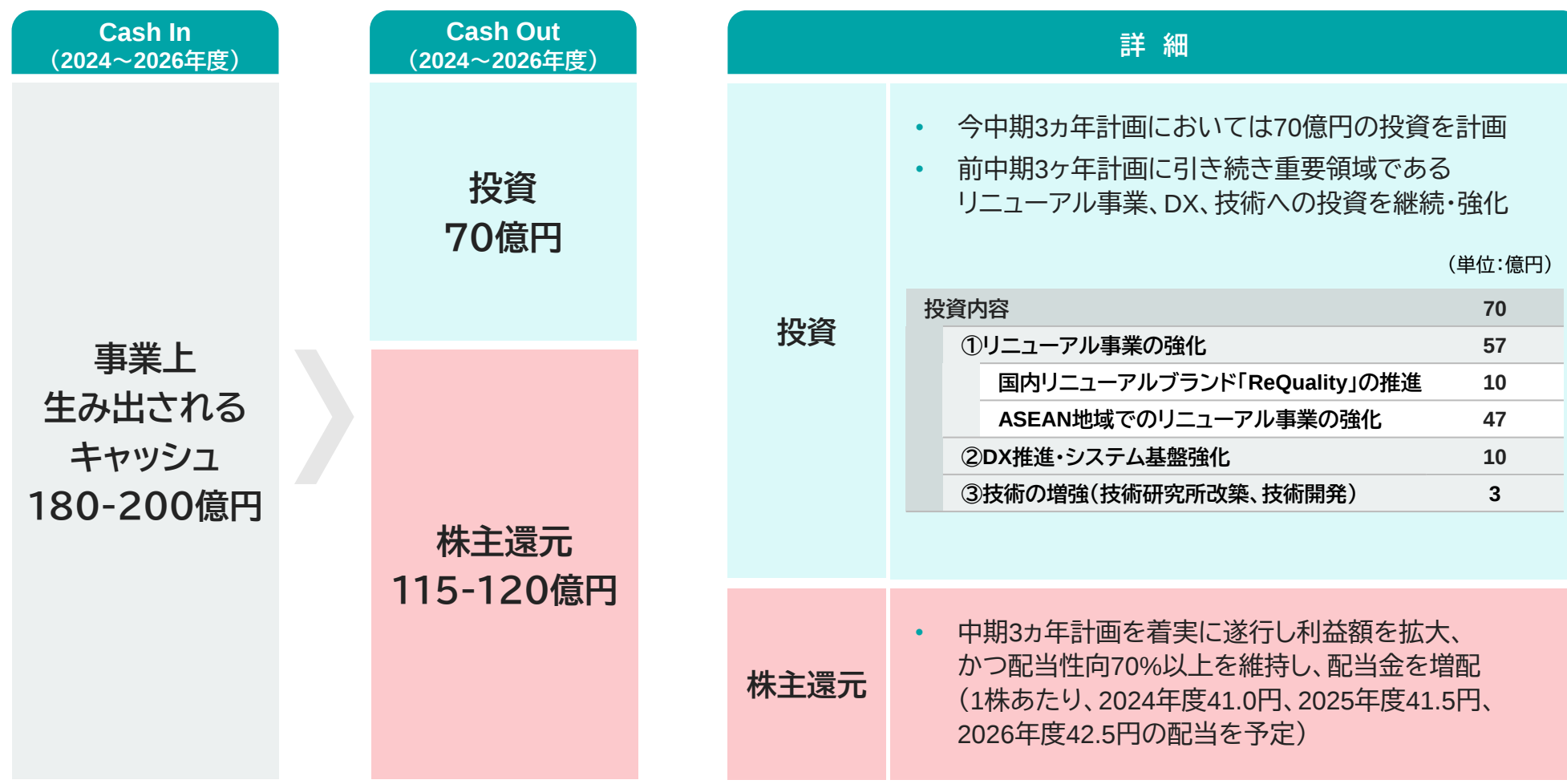
*3 2023年11月8日付「固定資産の譲渡および特別利益(固定資産売却益)の計上に関するお知らせ」にて開示の通り、売却益が含まれた利益

*4 株式分割前の金額

*5 2024年度より中間配当制度を導入。配当金額41.0円の内、第2四半期末に15.0円の中間配当を実施(効力発生日は2024年12月3日)

2. 中期3カ年計画 業績・キャピタルアロケーション

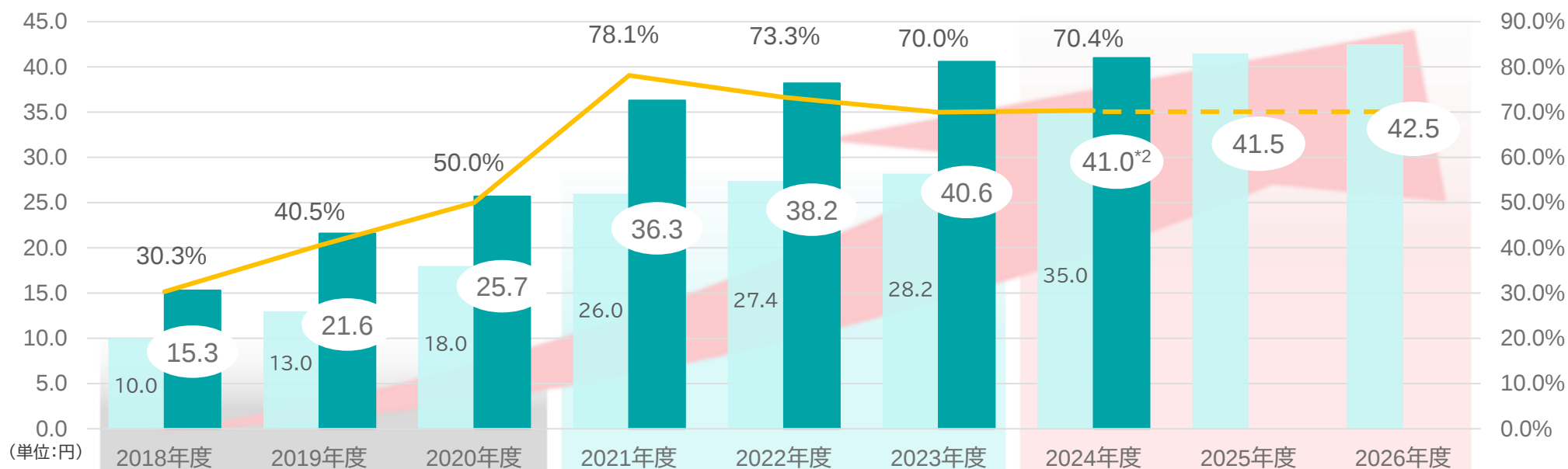
- 中期3カ年計画の3年間に於いて生み出されるキャッシュ約180～200億円については、投資・株主還元に分



3. 株主還元

- 配当は、9期連続で増配予定
- 現中期3カ年計画の株主還元計画は、「配当性向70%以上の維持」。更に、株式を購入しやすい環境とすべく、株式の分割と中間配当制度を導入

配当金額・配当性向推移



*1 2018/10/1株式併合(10株→1株)、2022/8/1株式分割(2分割)、2024/8/1株式分割(5分割)を実施しているため、記載金額は割合調整を実施

*2 中間配当15.0円、期末配当26.0円。期末配当については、2025年6月26日開催予定の第90期定時株主総会の決議をもって正式に決定

*3 2018年度、2021年度、2024年度を初年度とした各中期3カ年計画にて開示した当初の計画。但し、2025年度の配当金額は中期3カ年計画にて開示していないため、2025/5/14付の決算短信にて開示した予想金額を記載

中期3カ年計画

方針	効果的な投資への資金を確保しつつ、前中期3カ年計画での配当基準である「配当性向70%以上」を維持
配当基準	基準：配当性向70%以上
配当額(円)	最終年度 42.5円
その他	● 株式を分割(5分割)(効力発生日:2024年8月1日) ● 中間配当制度を導入(2024年度年間配当予想金額41.0円の内、第2四半期末に15.0円の中間配当を実施)

2

中期3カ年計画(2024～2026年度) KPI・施策の進捗状況

1.TOPICS

- 大阪・関西万博にて施工を担当したオランダパビリオンが無事竣工。2025年4月13日に開幕を迎えた
- オランダパビリオン建設のリアルストーリーを特設サイトにて公開中
- オランダパビリオンの移築に関する基本合意書も締結。2025年5月20日付でプレスリリース



オランダパビリオン建設 特設サイト

特設サイト「大阪・関西万博オランダパビリオン建設 挑戦の数が未来を創る「チーム浅沼組」の軌跡」では、当社がオランダパビリオン建設に至った背景や、設計から施工、そして建物完成までの舞台裏をストーリー形式で紹介するほか、プロジェクトに携わった社員のパビリオン建設への想いや、それぞれのフェーズでの挑戦などを振り返った動画コンテンツを掲載しています。

オランダパビリオン建設特設サイト URL、QRコード
<https://www.asanuma.co.jp/expo2025/>



移築について

オランダパビリオンの移築に関し、AND B.V.*1と(株)パソナグループとの間で基本合意書を締結しました。当社は、AND B.V.の一員として本移築プロジェクトに携わっており、さらには施工者としても参画する予定です。

本移築プロジェクトは、当社が推進する環境配慮や人への健康に資する取組み「GOOD CYCLCE PROJECT」の理念にも合致しております。

今後、関係各所と協議を進めてまいります。

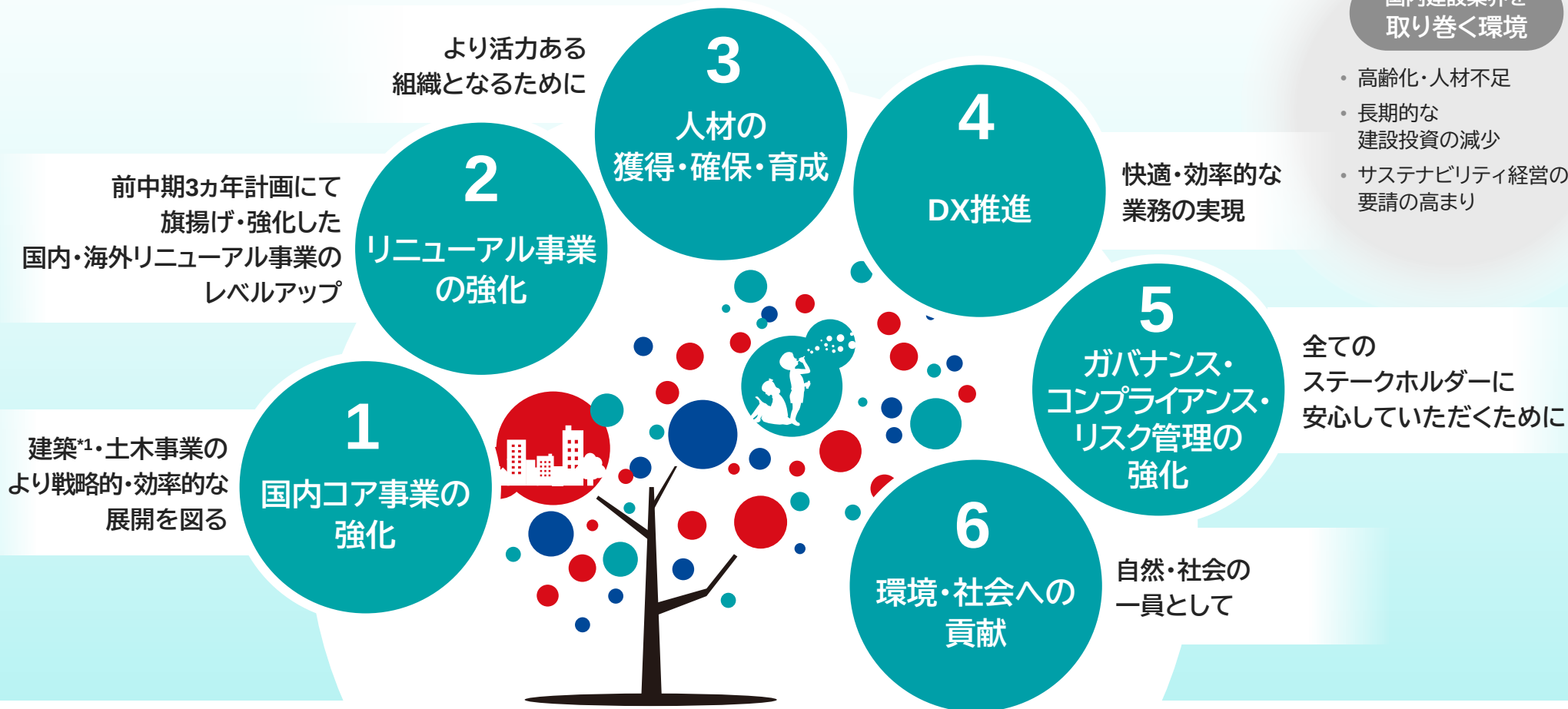
2025年5月20日付 プレスリリース URL、QRコード
https://www.asanuma.co.jp/news/index_news_pdf/20250520n.pdf



*1 日蘭の企業からなるコンソーシアム(共同事業体)。当社に加え、オランダの建築事務所「RAU」、体験型デザインスタジオ「Tellart」、エンジニアリング・コンサルタント会社「DGMR」の4社で構成される

2. 中期3カ年計画のテーマ

- 3カ年で注力することとして、6つのテーマを選定



国内建設業界を取り巻く環境

- ・高齢化・人材不足
- ・長期的な建設投資の減少
- ・サステナビリティ経営の要請の高まり

長期ビジョン*2

「顧客・協力会社、株主、社員の満足度の向上、および地球環境・社会への貢献に邁進する企業」

創業理念

「和の精神」「誠意・熱意・創意」

*1 主に建築(新築)を指す

*2 創業140年時点(2031年度(2032年1月20日))でありたい姿。2024年4月より長期ビジョン・理念・方針などを修正

3. テーマ毎のKPIの進捗

- 各テーマにおいてKPIを設定。2024年度実績は、2026年度末目標に向け良好な水準

テーマ (3年間で注力すること)		財務・非財務 KPI		2024年度実績に関する補足
		2026年度末目標	2024年度実績	
1	 国内コア事業の強化	顧客満足度スコア 80点以上 (直近2期平均)	79.9点 ※2023・2024年度平均 ※3月末時点受領分より算出	・前年に引き続き、高水準で維持(前年比+0.2点)
2	 リニューアル事業の強化	連結営業利益における リニューアル営業利益 40%以上	45.3%	・2023年度の国内リニューアルにおいて、大型案件や利益率良好な案件を受注し、2024年度営業利益に寄与
3	 人材の獲得・確保・育成	エンゲージメントスコア 70点以上	69.6点	・前年比+1.4点 ・「今の会社で働くことができ本当に良かったと思う」等のエンプロイエンゲージメント項目においてスコアが上昇
4	 DX推進	労働1時間あたりの 売上総利益 6,000円以上	6,722円	・労働時間の減少および売上総利益の上昇
5	 ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理の強化	重大な法令違反件数 0件 死亡災害 0件	0件 0件	・コンプライアンス教育に注力 ・DXを活用した安全教育を実施
6	 環境・社会への貢献	CO2排出量 総量削減率 スコープ1+2 △75% (1990年度比) スコープ3 カテゴリ11 △8% (2021年度比)	— (ウェブサイトにて公表予定)	・2024年度実績については、現在算出中。2025年6月頃にウェブサイトにて開示予定

4. テーマ毎の取り組み(1/6)

テーマ
(3年間で注力すること)

主な取り組み

1
国内コア事業
の強化

- 選別受注の強化

受注時利益率や作業所の4週8閉所、施工体制等を確保できる受注の獲得に努める「選別受注」を一層強化し、受注後の利益低下を防止

- フロントローディングの強化

- 環境配慮型独自技術の開発を強化し、これら技術を顧客等に向けわかりやすく整理、メニュー化。社内での意識醸成と顧客からの評価を獲得し、提案案件の増・利益率増に寄与
- 土木部門における技術設計・工務の全国統括部署と、総合評価案件情報を集約する部署を新設。提案力の強化を図る

(単体 建築・土木 完成工事利益率推移)

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	2024年度	
	実績	実績	実績	前期比
完成工事高(建・土)	132,247	141,737	155,275	+13,538
完成工事利益	12,961	11,246	15,510	+4,263
同利益率	9.8%	7.9%	10.0%	+2.1P

中期3カ年計画の施策

- 受注と施工のバランス確保
- 作業所業務支援体制の強化
- フロントローディングの実施
(設計・積算の強化)
- 注力・得意分野の追求と開拓
- 品質確保・向上に向けた仕組みの強化
- 協力会社との協働強化

4. テーマ毎の取り組み(2/6)

テーマ
(3年間で注力すること)

リニューアル 業績推移

・ 国内リニューアル

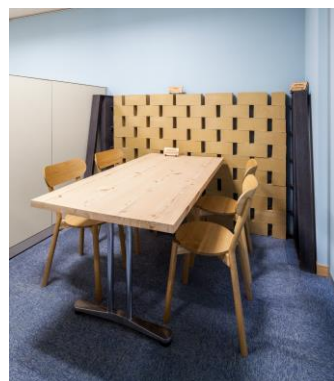
(単位:百万円)	2023年度	2024年度	
	実績	実績	前期比
売上高	19,887	24,193	+4,305
営業利益	1,115	2,311	+1,195
(同率)	5.6%	9.6%	+3.9P

・ 海外リニューアル(リニューアル子会社2社業績)

(単位:百万円)	2023年度	2024年度	
	実績	実績	前期比
売上高	9,785	9,679	▲105
営業利益*1	1,683	798	▲884
(同率)	—	—	—

主な取り組み

- ・ 広島支店エントランス等をリニューアル、顧客宛PR強化
名古屋支店改修PJ以降で得た「土」や「木」に関する知見・技術を活かし、広島支店エントランス・打ち合わせスペースをリニューアル。支店に訪れる顧客に当社技術をPR



未焼成レンガ

還土ブロック

立体木摺土壁

土壁パネル

2 リニューアル事業
の強化

*1 のれんを差し引いた金額。KPIの値の構成要素としての海外リニューアル営業利益は、のれんを差し引いた数値を用いているため

4. テーマ毎の取り組み(2/6)

テーマ
(3年間で注力すること)

主な取り組み

2 リニューアル事業
の強化

- 独自技術を用いたリニューアル提案

当社独自技術を用いたリニューアルを顧客宛に提案し、採用されたもの

株式会社佐藤渡辺 様
三郷営業所改修工事



土壁パネル

土壁左官工法を活用し、
パネルを製作。色も調
整が可能で、発注者様
のロゴも土壁にて再現



[https://www.requality.jp/
service/advance/335/](https://www.requality.jp/service/advance/335/)



廃プラスチックを活用した
アップサイクル

廃プラスチックを高温
焼成し、デコラ調の板を
成形、テーブルの天板
に張り付け



[https://www.requality.jp/
service/advance/636/](https://www.requality.jp/service/advance/636/)

- 名古屋支店改修PJを国際団体
ARCASIA*¹の展示会(inスリランカ)
にパネル出展

当社名古屋支店改修PJが日本建築家
協会(JIA)の環境建築賞を受賞したこ
とにより、展示会への出展依頼有り。
JIAに出展先として選定された作品は
全国で2物件のみ



展示会の様子（写真提供：SLIA/Forum22）

中期3カ年計画の施策

- リニューアル事業ブランド
「ReQuality」の強化



- ASEAN地域のリニューアル事業の強化

- 自然素材による技術研究所ZEB改修
- リニューアル関連技術の実用化・促進
(高度な建物劣化診断技術等)

*1 ARCASIAとは、アジアの建築家による親睦団体である「アジア建築家評議会 (Architects Regional Council Asia)」の通称で、シンガポールに拠点を置き、アジア諸国の建築物を表彰している

4. テーマ毎の取り組み(3/6)

テーマ (3年間で注力すること)	主な取り組み
3 人材の 獲得・確保・育成	・【獲得】 採用ホームページをリニューアルオープン タイトルは「ぬまる、浅沼。」 当社は、主要ゼネコン23社中で、平均勤続年数が第1位を誇ります^{*1}。 なぜ社員は浅沼組に“ぬまる”^{*2}のか。 本サイトは、当社社員に、さまざまなエピソードや業務内容をインタビューし、ぬまるヒミツを紹介しています。 QRコード URL: https://www.asanuma.co.jp/saiyo/ ・【獲得・確保】 奨学金返還支援制度を導入 社員の奨学金を会社が一部負担。奨学金を返済しながら働く社員の負担を軽減する施策により、より魅力的な企業として選ばれることを目的として導入 ・【育成】 研修の充実化 新入社員研修の長期化・充実化、およびキャリア形成を促す研修の新設 中期3カ年計画の施策 - 採用施策の強化 - 多用な人材の確保 (女性、外国籍、高年齢者等) - 休暇取得・残業縮減の推進 - 作業所の労働環境の改善、閉所の推進 - 研修内容の見直し、強化 - 当社のブランディング・PRの強化

*1 主要ゼネコン23社中の平均勤続年数で第1位(2024年3月31日時点)

*2 ぬまる:夢中になる、熱中する、のめり込む、没頭する などの意味

4. テーマ毎の取り組み(4/6)

テーマ
(3年間で注力すること)

主な取り組み



DX推進

- 経済産業省が定める「DX認定事業者^{*1}」の認定を取得

2025年3月1日付けで、“DX認定”を取得。3Dモデルを用いて関係者間で情報を共有するBIM・CIMの活用などが評価された。DX人材の育成をはじめとし、DXを強化していく



- 浅沼組文書管理システムの導入

さまざまな文書が分散保管されている状況を、一定の情報管理ルールを以て集約・保管することで解消し、生産性の向上に寄与する

- 主なDX施策の進捗

施策	2024年度	2025年度	2026年度
業務用スマホの全社導入	検討・準備	運用	
現場用チャットツールの導入	運用		
文書管理システムの開発・導入	検討・準備	運用開始	
作業所OAの刷新	検討・準備	運用	
経費管理システムの導入	検討・準備	運用	
請求書システムの導入	検討・準備		運用
DX人材育成のための研修	検討・準備	運用	

中期3カ年計画の施策

- DX推進体制の強化
- 施工・品質・安全管理におけるDX推進
- 管理業務・社内業務におけるDX推進
- 先進IT技術実現に向けた情報収集・試行（RXコンソーシアム^{*2}での活動）
- BIM・CIM^{*3}の更なる活用

^{*1} DX認定事業者とは、デジタル技術による社会変革に対して経営者に求められる事項をとりまとめた「デジタルガバナンス・コード」に対応し、DX推進体制が整備されている企業を国が認定する制度

^{*2} 施工段階で必要となるロボット技術やIoT関連アプリケーション等の技術の共同開発、既開発技術の共同利用、情報提供・発信をする組織。正会員29社、協力会員262社からなる（2025年5月21日現在）

^{*3} Building Information Modeling、Construction Information Modeling。3次元建物モデルに属性情報を持たせたもの。企画・設計・施工・維持管理等にて一貫して使用可能

4. テーマ毎の取り組み(5/6)

テーマ (3年間で注力すること)	主な取り組み
 5 ガバナンス・ コンプライアンス・ リスク管理の強化	ガバナンスの強化 ➤ 中間配当制度を導入(配当基準日:毎年9月30日) ➤ 株式分割(5分割)を実施(効力発生日:2024年8月1日) 当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性を向上 ➤ 役員報酬決定方針の改定、指標(営業利益 ROE、ROIC)を導入 ➤ 株主・投資家とのコミュニケーションの強化^{*1} これまで対面形式のみで実施していた決算説明会(機関投資家向け説明会)をライブ配信形式とし、より多くの投資家様に向け、当社事業内容を発信 ➤ Evergreen Engineering社との業務プロセスの内部統制の整備と運用評価 コンプライアンスの強化 ➤ 階層別研修でガバナンス・内部統制研修を強化 ➤ 各コンプライアンス研修をeラーニングで実施 リスク管理の強化 - 各部署・グループに「セキュリティ担当者」を設置 - ITセキュリティ体制を強化し、インシデント発生を事前に防止  ラジオNIKKEI & プロネクサス共催 企業IR & 個人投資家応援イベント (神戸会場の様子) 中期3カ年計画の施策 - ガバナンスの更なる強化(海外子会社ガバナンス含む) - 株主・投資家とのコミュニケーションの強化 - コンプライアンスへの対応、意識の向上 - 安全対策の強化(高齢労働者)、意識の向上 - 情報セキュリティの体制・システムの強化、意識の向上

*1 株主・機関投資家面談26回、決算説明会(オンデマンド動画含む)3回、個人投資家説明会3回(2024年度)

4. テーマ毎の取り組み(6/6)

テーマ (3年間で注力すること)	主な取り組み
6 環境・社会への 貢献	• SBT^{*1}イニシアチブ(SBTi)にコミットメントレターを提出 温室効果ガス(GHG)排出削減を推進するため、SBTiに対してコミットメントレターを提出(2024年3月)。2年以内に中期的なGHG排出削減目標を設定しSBTiに申請することを誓約。現在これに向け準備中 • CDP^{*2}「気候変動レポート2024」にて「B」スコアの評価を受領 2022年度より回答を始め、2023年度に引き続き「B」スコアの評価 • 環境配慮等の高付加価値な資材の提案 森林破壊ゼロへの取り組みとして、認証木材^{*3}活用への取り組み方針をエコフレンドリーASANUMA21にて開示 • 作業所仮設電気・自社ビル3拠点(技術研究所、名古屋支店、東北支店)に「再生可能エネルギー100%電力」を導入 CO2削減へ 中期3カ年計画の施策 • 環境配慮・循環・健康に関する取り組みの推進 • 環境配慮等の高付加価値な設計・資材等の提案 • SBT認定の取得 • 建築技術における健康科学の検証と展開 • ZEB・ZEH推進基盤の整備・強化

*1 SBTとは「Science Based Targets」の略であり、パリ協定が求める水準と整合した、5年～10年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと(出展: 環境省HP)。外部機関による認証を取得予定

*2 CDPとは世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体で、多くの企業、金融機関、自治体が、環境への影響を管理するためにCDPのシステムを活用している

*3 認証木材とは、適正に管理された森林から生産される木材等を生産・流通・加工工程でラベルを付すなどして、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する仕組み

Appendix

Appendix (別紙) 1/7

1 KPIの算出方法・過去実績

テーマ (3年間で注力すること)		財務・非財務 KPI	算出方法・過去実績														
1	 国内コア事業 の強化	顧客満足度 スコア 80点以上 (直近2期平均)	算出 方法	● 工事成績評価受領先(官庁工事が主) - 評価の点数を顧客満足度スコアとする ● 顧客満足度アンケート実施先(民間工事が主) - 各設問における回答を右表の通りのスコアに読み替え、平均値を算出 - 工事成績評価受領先のスコアとの乖離を埋めるため、上記にて算出した平均値に0.85の掛け目をつけて補正(掛け目は過去実績に基づき算出) - 当該年度のアンケート結果を全て受領するまで時間を要するため、当該年度の評価は、当該年度および前年度の2期平均値を適用	アンケート実施先 <table><tr><th>アンケート 回答</th><th>スコアへの 換算</th></tr><tr><td>満足</td><td>100点</td></tr><tr><td>やや満足</td><td>85点</td></tr><tr><td>普通</td><td>70点</td></tr><tr><td>やや不満</td><td>55点</td></tr><tr><td>不満</td><td>40点</td></tr></table>	アンケート 回答	スコアへの 換算	満足	100点	やや満足	85点	普通	70点	やや不満	55点	不満	40点
			アンケート 回答	スコアへの 換算													
		満足	100点														
やや満足	85点																
普通	70点																
やや不満	55点																
不満	40点																
過去 実績	● 2022・2023年度平均: 79.7点 ● 2023・2024年度平均: 79.9点																
2	 リニューアル 事業の強化	連結営業利益における リニューアル営業利益 40%以上	算出 方法	● リニューアル営業利益(国内・国外)÷連結営業利益(海外リニューアル営業利益についてはのれん金額をマイナス) ● 今後のASEANリニューアル会社M&Aを加味した数字													
			過去 実績	● 2023年度: 68% (シンガポール子会社の業績が好調だったものによる) ● 2024年度: 45.3%													
		3	 人材の獲得・ 確保・育成	エンゲージメント スコア 70点以上		算出 方法	● ストレスチェック(全社員対象)において、エンゲージメントに関わる4項目の設問で、回答の4段階の内、上位2つ(下記①②)の割合を点数化 回答: ①とても当てはまる ②まあまあ当てはまる ③あまり当てはまらない ④全く当てはまらない										
過去 実績	● 2023年度: 68.1点 ● 2024年度: 69.6点																

Appendix (別紙) 2/7

テーマ (3年間で注力すること)		財務・非財務 KPI	算出方法・過去実績																																			
4	 DX推進	労働1時間あたりの 売上総利益	算出 方法	● 売上総利益(連結)÷全社員の労働時間(個別)																																		
		6,000円以上	過去 実績	● 2023年度: 5,230 円 / 労働1時間あたり ● 2024年度: 6,722 円 / 労働1時間あたり																																		
5	 ガバナンス・ コンプライアンス・ リスク管理の強化	重大な法令違反件数	算出 方法	● 重大な法令違反件数 ・「重大な法令違反」に法的な定義はないことから、当社では原則として下記の通り定義付ける (但し個別性が高いため案件毎に都度判断) ▶ 社会や自社に多大な影響を与える法令違反 ▶ 刑事上・行政上の処分(公表されるもの)を受けるに至った法令違反																																		
		死亡災害	過去 実績	● 死亡災害件数 ・ 1回の災害で複数名亡くなれば、その人数を件数としてみなす(行政報告等のルールに準拠)																																		
		<table><tr><th>年度</th><th>重大な法令違反</th><th>死亡災害</th></tr><tr><td>2023</td><td>0件</td><td>1件</td></tr><tr><td>2024</td><td>0件</td><td>0件</td></tr></table>			年度	重大な法令違反	死亡災害	2023	0件	1件	2024	0件	0件																									
年度	重大な法令違反	死亡災害																																				
2023	0件	1件																																				
2024	0件	0件																																				
6	 環境・社会への 貢献	CO2排出量総量削減率	算出 方法	● 元より設定していた2030年度・2050年度目標より逆算し、2026年度目標を設定 (%は基準年度対比での削減率)																																		
		スコープ1+2 △75% (1990年度比) スコープ3 カテゴリ11 △8% (2021年度比)	過去 実績	<table><tr><th rowspan="2">対象</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">基準年度</th><th rowspan="2">実績 2023 年度</th><th>中期計画^{*2}</th><th colspan="2">中長期目標</th></tr><tr><th>年度</th><th>排出量</th><th>2026 年度</th><th>2030 年度</th><th>2050 年度</th></tr><tr><td rowspan="2">スコープ1・2 (建設工事のみ 対象)</td><td>原単位 t-CO2/ 億円^{*1}</td><td>1990</td><td>30</td><td>15.6 ▲47.7%</td><td>13.8 ▲54%</td><td>12 ▲60%</td><td>3 ▲90%</td></tr><tr><td>総量 t-CO2</td><td>1990</td><td>74,193</td><td>22,205 ▲70.0%</td><td>18,548 ▲75%</td><td>16,322 ▲78%</td><td>3,710 ▲95%</td></tr><tr><td>スコープ3 カテゴリ11 (自社設計+ 他社設計)</td><td>総量 t-CO2</td><td>2021</td><td>693,428</td><td>641,933 ▲7.4%</td><td>637,953 ▲8%</td><td>589,414 ▲15%</td><td>450,728 ▲35%</td></tr></table> 参考: CO₂のカテゴリー ・ スコープ1 事業活動で発生するCO₂ ・ スコープ2 電気ガスの使用による 間接排出のCO₂ ・ スコープ3 カテゴリ11 お客様にお引渡しした建築物 の使用時に排出されるCO₂	対象	単位	基準年度		実績 2023 年度	中期計画 ^{*2}	中長期目標		年度	排出量	2026 年度	2030 年度	2050 年度	スコープ1・2 (建設工事のみ 対象)	原単位 t-CO2/ 億円 ^{*1}	1990	30	15.6 ▲47.7%	13.8 ▲54%	12 ▲60%	3 ▲90%	総量 t-CO2	1990	74,193	22,205 ▲70.0%	18,548 ▲75%	16,322 ▲78%	3,710 ▲95%	スコープ3 カテゴリ11 (自社設計+ 他社設計)	総量 t-CO2	2021	693,428	641,933 ▲7.4%	637,953 ▲8%
対象	単位	基準年度		実績 2023 年度			中期計画 ^{*2}	中長期目標																														
		年度	排出量		2026 年度	2030 年度	2050 年度																															
スコープ1・2 (建設工事のみ 対象)	原単位 t-CO2/ 億円 ^{*1}	1990	30	15.6 ▲47.7%	13.8 ▲54%	12 ▲60%	3 ▲90%																															
	総量 t-CO2	1990	74,193	22,205 ▲70.0%	18,548 ▲75%	16,322 ▲78%	3,710 ▲95%																															
スコープ3 カテゴリ11 (自社設計+ 他社設計)	総量 t-CO2	2021	693,428	641,933 ▲7.4%	637,953 ▲8%	589,414 ▲15%	450,728 ▲35%																															

*1 完工高1億円当たりの排出量

*2 中期計画(2026年度)は、基準年度から中長期目標までの直線上での数値にて目標を設定

Appendix（別紙） 3/7

2 2025年3月期 業績(連結)

受注高： 国内建築における工場・倉庫等の大型案件受注等により、対期初計画大幅増（+28％）。対前期では概ね同水準（+1.8％）
売上高： 工事の順調な進捗により、期初計画比増（+8.7％）、前期比増（+9.4％）
利 益： 受注時の資材・労務費及び施工体制等を考慮した「選別受注」により、売上総利益率が大幅に改善（前年比+1.5P、計画比+0.3P）。結果、各利益額が計画を上回った
配 当： 上記の結果、期初計画 35.0円/株から 41.0円/株に増配（+6.0円/株）、前期比増となった

■損益計算書

	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期			
			計画	実績	前期比	計画比
受注高	144,743	177,366	141,200	180,624	3,258	39,424
売上高	144,436	152,676	153,660	167,005	14,328	13,345
完成工事高	141,758	149,415	152,500	163,661	14,245	11,161
その他	2,678	3,261	1,160	3,344	82	2,184
売上総利益	15,139	14,149	16,100	17,991	3,842	1,891
率	10.5%	9.3%	10.5%	10.8%	1.5P	0.3P
完成工事利益	14,341	13,161	15,750	17,081	3,920	1,331
率	10.1%	8.8%	10.3%	10.4%	1.6P	0.1P
その他利益	797	988	350	909	△78	559
率	29.8%	30.3%	30.2%	27.2%	△3.1P	△3.0P
販管費	9,447	10,091	10,170	11,124	1,032	954
営業利益	5,691	4,057	5,930	6,867	2,810	937
率	3.9%	2.7%	3.9%	4.1%	1.4P	0.2P
経常利益	5,918	4,306	5,820	6,545	2,239	725
率	4.1%	2.8%	3.8%	3.9%	1.1P	0.1P
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,200	4,670	4,020	4,692	21	672
率	2.9%	3.1%	2.6%	2.8%	△0.3P	0.2P
配当（実績・予定）	※ 38.2円	※ 40.6円	35.0円	41.0円	0.4円	6.0円
配当性向	73.3%	70.0%	70.3%	70.4%	0.3P	0.1P

※ 当社は、2024年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合を持って分割しました。
2023年3月期、2024年3月期の1株当たりの配当実績については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。

	2024/3期 実績	2025/3期 実績		2024/3期 実績	2025/3期 実績
投下資本利益率（ROIC）	4.5%	7.1%	資本コスト（WACC）	4.1%	4.1%
自己資本利益率（ROE）	10.2%	10.1%	株主資本コスト	4.9%	5.5%
自己資本比率	47.0%	39.7%			

■貸借対照表

（単位：百万円）

	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期	
			実績	前期比
資産合計	93,034	101,251	115,240	13,988
流動資産	76,719	83,229	97,664	14,434
固定資産	16,315	18,022	17,576	△446
負債合計	48,367	52,545	69,102	16,556
内 借入金（社債含）	10,332	14,984	21,558	6,573
流動負債	35,190	45,181	52,885	7,704
内短期借入金（社債含）	1,808	12,126	9,946	△2,180
固定負債	13,176	7,363	16,216	8,852
内長期借入金（社債含）	8,524	2,858	11,611	8,753
純資産	44,667	48,705	46,138	△2,567
株主資本	42,646	44,251	42,411	△1,840
その他の包括利益	1,352	3,371	3,296	△74
非支配株主分	668	1,083	430	△652

■キャッシュ・フロー計算書

営業活動による キャッシュ・フロー	1,354	△3,169	5,184	8,353
投資活動による キャッシュ・フロー	934	2,649	△784	△3,434
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,661	1,410	△913	△2,323
現金及び現金同等物の 期末残高	11,796	13,031	16,833	3,801

Appendix（別紙）4/7

3 2025年3月期 業績(個別)

■損益計算書

	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期			
			計画	実績	前期比	計画比
受注高	135,943	168,393	135,000	169,334	941	34,334
建築	113,277	146,168	111,000	143,828	△2,339	32,828
土木	22,666	22,224	24,000	25,506	3,281	1,506
売上高	132,800	142,156	143,400	155,720	13,564	12,320
完成工事高	132,247	141,737	143,000	155,275	13,538	12,275
建築	106,972	121,979	122,000	134,318	12,339	12,318
土木	25,275	19,757	21,000	20,957	1,199	△42
その他	553	419	400	445	25	45
売上総利益	13,194	11,374	14,110	15,647	4,273	1,537
率	9.9%	8.0%	9.8%	10.0%	2.0P	0.2P
完成工事利益	12,961	11,246	13,980	15,510	4,263	1,530
率	9.8%	7.9%	9.8%	10.0%	2.1P	0.2P
建築	9,007	8,750	-	12,916	4,166	-
率	8.4%	7.2%	-	9.6%	2.4P	-
土木	3,953	2,496	-	2,593	97	-
率	15.6%	12.6%	-	12.4%	△0.2P	-
その他利益	233	128	130	137	9	7
率	42.2%	30.5%	32.5%	31.0%	0.5P	△1.5P
販管費	8,490	9,068	8,890	9,714	645	824
人件費	4,587	5,158	-	5,228	70	-
経費	3,902	3,910	-	4,486	575	-
営業利益	4,704	2,305	5,220	5,933	3,627	713
率	3.5%	1.6%	3.6%	3.8%	2.2P	0.2P
経常利益	4,878	2,568	5,060	5,472	2,903	412
率	3.7%	1.8%	3.5%	3.5%	1.7P	0.0P
当期純利益	3,607	3,639	3,500	3,949	309	449
率	2.7%	2.6%	2.4%	2.5%	△0.1P	0.1P

■貸借対照表

（単位：百万円）

	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期		
			実績	前期比	増減率
資産合計	85,917	92,463	107,963	15,500	16.8%
流動資産	68,204	73,119	86,053	12,933	17.7%
固定資産	17,713	19,343	21,910	2,566	13.3%
負債合計	42,871	47,537	64,005	16,468	34.6%
内 借入金（社債含）	8,100	13,100	20,000	6,900	52.7%
流動負債	31,813	41,932	49,286	7,353	17.5%
内短期借入金（社債含）	1,460	11,800	9,610	△2,190	△18.6%
固定負債	11,057	5,604	14,719	9,114	162.6%
内長期借入金（社債含）	6,640	1,300	10,390	9,090	699.2%
純資産	43,046	44,926	43,958	△968	△2.2%
株主資本	41,942	42,528	41,928	△599	△1.4%
評価・換算差額等	1,103	2,398	2,029	△368	△15.4%

自己資本比率	50.1%	48.6%	40.7%	△7.9P	-
--------	-------	-------	--------------	-------	---

Appendix（別紙）5/7

4 2025年3月期 関係会社の状況

SINGAPORE PAINTS	：利益面で前期比減となったが、計画は達成。次期は今期計画並みの計画
EVERGREEN ENGINEERING	：計画を達成。前期は大型工事や市況環境等の一過性の要因もあり業績好調だったが、当期は例年並みの結果となった。大型案件も順調に推移しており次期も堅調推移
その他関係会社	：各社ともに底堅く推移

■連結子会社

(単位：百万円)

SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD. 建物塗装・修繕工事請負業 資本金：95百万円 出資比率：80%							EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD. 設備工事業、建物メンテナンス業 資本金：389百万円 出資比率：100%							浅沼建物（株） 損害保険代理業 資本金：20百万円 出資比率：100%						
(損益)	2024/3期	2025/3期					2024/3期	2025/3期					2026/3期	2024/3期	2025/3期					2026/3期
	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画		実績	計画	実績	前期比	計画比	計画	
売上高	3,358	3,600	3,758	399	158	3,266	6,426	5,900	6,708	281	808	9,144		171	178	231	60	53	190	
営業利益	392	210	284	△107	74	224	1,638	840	895	△743	55	994		33	41	100	67	59	30	
経常利益	397	220	307	△90	87	202	1,753	920	1,058	△695	138	1,126		33	41	100	67	59	30	
当期純利益	333	185	255	△77	70	168	1,449	765	891	△558	126	935		21	27	62	41	35	20	
(貸借)	2024/3期	2025/3期					2024/3期	2025/3期					2026/3期	2024/3期	2025/3期					2026/3期
	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画		実績	計画	実績	前期比	計画比	計画	
総資産	2,558	-	2,521	△36	-	-	4,979	-	6,800	1,820	-	-	-	360	-	437	77	-	-	-
有利子負債	135	-	0	△135	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
純資産	958	-	1,294	336	-	-	3,833	-	5,047	1,213	-	-	-	286	-	328	42	-	-	-

■連結子会社（PFI事業）

PFI事業（3社） 合計							<PFI関連企業の概要>			
(損益)	2024/3期	2025/3期					名称	資本金	当社 出資比率	関係内容他
	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画				
売上高	585	596	592	6	△3	604	宇都宮郷の森斎場（株）	10	42.5%	当社が資金の貸付を行っている
営業利益	25	25	19	△6	△5	3	桜井給食ファシリティーズ（株）	10	50.0%	当社が資金の貸付を行っている
経常利益	20	20	21	0	1	4	小田原斎場PFI（株）	10	40.0%	当社が資金の貸付を行っている
当期純利益	15	16	16	0	0	2				
(貸借)	2024/3期	2025/3期								
	実績	計画	実績	前期比	計画比	計画				
総資産	2,597	-	2,265	△331	-	-				
有利子負債	1,994	-	1,655	△339	-	-				
うち 親会社（当社） 貸付額	109	-	97	△11	-	-				
純資産	284	-	300	16	-	-				

Appendix（別紙）6/7

5 2025年3月期 業績予想(連結・個別)

受注高： 過年度の受注が好調であり繰越工事が潤沢であるため、より一層の利益確保の『選別受注』を推進し、今期受注は前期比減少計画
売上高： 2025/3期の繰越工事高を加味し、前期比+2.0%の計画
利 益： 利益率は現状と同水準を維持
配 当： 前期比+0.5円/株の増配し、41.5円/株にて予想

(単位：百万円)

		連結					
		2024/3期	2025/3期		2026/3期		
		実績	実績	前期比	計画	前々期比	前期比
受注高		177,366	180,624	3,258	151,500	△25,866	△29,124
	建築	-	-	-	-	-	-
	土木	-	-	-	-	-	-
売上高		152,676	167,005	14,328	170,300	17,623	3,294
	完成工事高	149,415	163,661	14,245	167,200	17,784	3,538
	建築	-	-	-	-	-	-
	土木	-	-	-	-	-	-
	その他	3,261	3,344	82	3,100	△161	△244
売上総利益		14,149	17,991	3,842	18,320	4,170	328
	率	9.3%	10.8%	1.5P	10.8%	1.5P	0.0P
	完成工事利益	13,161	17,081	3,920	17,560	4,398	478
	率	8.8%	10.4%	1.6P	10.5%	1.7P	0.1P
	その他利益	988	909	△78	760	△228	△149
	率	30.3%	27.2%	△3.1P	24.5%	△5.8P	△2.7P
販管費		10,091	11,124	1,032	11,290	1,198	165
営業利益		4,057	6,867	2,810	7,030	2,972	162
	率	2.7%	4.1%	1.4P	4.1%	1.4P	0.0P
経常利益		4,306	6,545	2,239	6,820	2,513	274
	率	2.8%	3.9%	1.1P	4.0%	1.2P	0.1P
親会社株主に帰属する		4,670	4,692	21	4,770	99	77
当期純利益（連結）	率	3.1%	2.8%	△0.3P	2.8%	△0.3P	0.0P
配当（実績・予想）		※1 40.6円	※2 41.0円	0.4円	41.5円	0.9円	0.5円
配当性向		70.0%	70.4%	0.4P	70.1%	0.1P	△0.3P

	個別					
	2024/3期	2025/3期		2026/3期		
	実績	実績	前期比	計画	前々期比	前期比
	168,393	169,334	941	144,000	△24,393	△25,334
	146,168	143,828	△2,339	120,000	△26,168	△23,828
	22,224	25,506	3,281	24,000	1,775	△1,506
	142,156	155,720	13,564	157,100	14,943	1,379
	141,737	155,275	13,538	156,700	14,962	1,424
	121,979	134,318	12,339	132,700	10,720	△1,618
	19,757	20,957	1,199	24,000	4,242	3,042
	419	445	25	400	△19	△45
	11,374	15,647	4,273	15,970	4,595	322
	8.0%	10.0%	2.0P	10.2%	2.2P	0.2P
	11,246	15,510	4,263	15,840	4,593	329
	7.9%	10.0%	2.1P	10.1%	2.2P	0.1P
	128	137	9	130	1	△7
	30.5%	31.0%	0.5P	32.5%	2.0P	1.5P
	9,068	9,714	645	9,700	631	△14
	2,305	5,933	3,627	6,270	3,964	336
	1.6%	3.8%	2.2P	4.0%	2.4P	0.2P
	2,568	5,472	2,903	6,540	3,971	1,067
	1.8%	3.5%	1.7P	4.2%	2.4P	0.7P
	3,639	3,949	309	4,770	1,130	820
	2.6%	2.5%	△0.1P	3.0%	0.4P	0.5P

※1 当社は、2024年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合を持って分割しました。2024年3月期の1株当たりの配当実績については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。
※2 当社は、2025年3月期より中間配当制度を導入いたしました。2025年3月期は期初配当予想金額35.0円の内、第2四半期末に15.0円の中間配当を実施いたしました。（効力発生日は2024年12月3日）

© 2025 Asanuma Corporation.

Appendix (別紙) 7/7

6 2025年3月期 受注の状況(個別)

(単位：百万円)

		2024/3期		2025/3期		
		実績	構成比	実績	構成比	前期比
■建土 官民別						
建築	官 庁	18,376	12.6%	22,381	15.6%	4,005
	民 間	127,791	87.4%	121,446	84.4%	△6,345
		146,168	100.0%	143,828	100.0%	△2,339
土木	官 庁	13,801	62.1%	19,552	76.7%	5,750
	民 間	8,423	37.9%	5,954	23.3%	△2,469
		22,224	100.0%	25,506	100.0%	3,281
	官 庁	32,178	19.1%	41,934	24.8%	9,755
	民 間	136,214	80.9%	127,400	75.2%	△8,814
	合 計	168,393	100.0%	169,334	100.0%	941

■用途別

建築	事 務 所	9,596	6.6%	19,933	13.9%	10,336
	宿 泊	5,891	4.0%	2,180	1.5%	△3,711
	店 舗・娯 楽	2,017	1.4%	2,818	2.0%	800
	工 場・倉 庫	56,324	38.5%	53,835	37.4%	△2,488
	住 宅	31,227	21.4%	28,635	19.9%	△2,591
	教 育 研 究	4,914	3.4%	4,946	3.4%	32
	医 療 福 祉	13	0.0%	1,920	1.3%	1,907
	そ の 他	1,444	1.0%	12,271	8.5%	10,826
	リ ニ ュ ー ア ル	34,737	23.8%	17,285	12.0%	△17,451
		146,168	100.0%	143,828	100.0%	△2,339
土木	治 山 治 水	1,399	6.3%	254	1.0%	△1,145
	鉄 道	4,101	18.5%	3,004	11.8%	△1,097
	上 下 水 道	5,418	24.4%	10,193	40.0%	4,774
	造 成	3,083	13.9%	1,574	6.2%	△1,509
	道 路	2,097	9.4%	3,957	15.5%	1,860
	そ の 他	6,124	27.6%	6,521	25.6%	397
		22,224	100.0%	25,506	100.0%	3,281
合 計		168,393		169,334		941

(単位：百万円)

		2024/3期		2025/3期		
		実績	構成比	実績	構成比	前期比
■発注者業種別						
官庁	中 央	12,650	39.3%	24,386	58.2%	11,736
	地 方	19,528	60.7%	17,547	41.8%	△1,980
		32,178	100.0%	41,934	100.0%	9,755
民間	製 造 業	34,925	25.6%	28,653	22.5%	△6,272
	非 製 造 業	101,289	74.4%	98,747	77.5%	△2,542
		136,214	100.0%	127,400	100.0%	△8,814
合 計		168,393		169,334		941

■地域別

北 海 道	8,248	4.9%	2,846	1.7%	△5,401
東 北	7,437	4.4%	11,393	6.7%	3,955
東 京	65,552	38.9%	48,097	28.4%	△17,454
内 海 外	1,269	0.8%	412	0.2%	△857
名 古 屋	14,662	8.7%	19,606	11.6%	4,943
大 阪	47,034	27.9%	60,230	35.6%	13,195
広 島	12,089	7.2%	10,597	6.3%	△1,491
九 州	13,368	7.9%	16,562	9.8%	3,194
合 計	168,393	100.0%	169,334	100.0%	941

■工事規模別

※新規受注のみ

5 億 円 未 満	19,471	12.8%	13,572	9.0%	△5,899
5 億 以 上 10 億 未 満	15,839	10.4%	7,345	4.9%	△8,493
10 億 以 上 30 億 未 満	44,021	28.9%	39,847	26.5%	△4,174
30 億 以 上	72,748	47.8%	89,801	59.6%	17,053
合 計	152,081	100.0%	150,567	100.0%	△1,513



MEMO



MEMO



MEMO



お問合せ先

株式会社 浅沼組
戦略企画本部

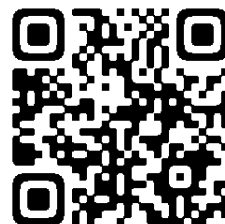
コーポレート・コミュニケーション部

MAIL asanuma_ir@asanuma.co.jp

TEL 06-6585-5500

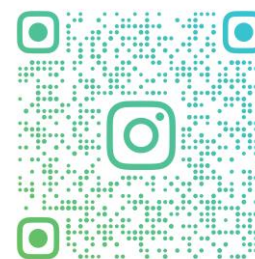
FAX 06-6585-5556

浅沼組統合報告書2024



<https://www.asanuma.co.jp/csr/report.html>

コーポレート Instagram



ASANUMA_OFFICIAL

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。